

原田市長の

さんぽみち 散歩道



最近、NHKの特別番組で取り上げられたこともあって、「無縁社会」が話題になっている。人と人との絆が失われた社会を表す言葉なので、大きな行政課題ではあるが、私個人としては、嫌な響きを感じる言葉だ。

少子化や高齢化、核家族化が進み、兄弟姉妹がいない人や、夫や妻を先に亡くして老後を一人で過ごす人、結婚しない若者など、「血縁」のない人が増えている。

同じ職場で定年まで勤める生涯雇用が減り、派遣や臨時の雇用が多くなったことや、職場での付き合いが少なくなったことで、仕事を通しての友人がいない「職場縁」のない人が多くなっている。核家族化が進んだことにより、アパートやマンションに移り住む人が増え、さらに個人や室内での趣味が多くなることによって、自分が住んでいる地域の人々との交流が少なくなり、「地縁」を持たない人が増えている。このような3つの縁を持たない人が増え、結果、自殺に追い込まれたり、孤独死

「脱・無縁社会」

などを迎えてしまう「無縁社会」現象が日本の各地で起きつつある。幸い、袋井市では、自治会や公民館の活動が盛んであり、ボランティア団体も数多くあるので、この力を活用した「地縁」づくりを進め、「脱無縁社会」を目指していきたいと思う。

市内13の公民館では、音楽、手芸、書、絵画、スポーツなど趣味や健康づくりのほとんどの分野のサークルがあり、入会者を待っている。参加者は女性が比較的多く、男性の入会は歓迎されるであろうから、思い切って参加し、一人でも多くの知り合いを作りたいと思う。

協働まちづくりセンター「ふらっと」でも30以上のNPO法人が登録して活動している。それぞれの団体の目的や使命に同感できれば、是非、入会し活動してほしい。市民一人ひとりが楽しく、やりがいを感じながら、知り合いを交えて生活していくことが「無縁社会」との決別方法であると思っ。



『毎月19日は、食育の日』 お酒が駄目な方でもこれなら大丈夫!

酒かすあえ

●材料(4人分)

- 酒かす …… 大さじ3
- 酒 …… 少々
- ニンジン …… 1/2本
- こんにやく …… 1/2枚
- コマツナ …… 1/2束
- 塩 …… 小さじ1/2
- だし汁 …… 1/2カップ
- 白味噌 …… 大さじ2
- A { 砂糖 …… 大さじ1
- 薄口しょう油…小さじ1
- 濃口しょう油…小さじ1/3

●作り方

- ①酒かすは、酒を少々ふり、しばらくおいておく。
- ②ニンジンは太めの千切りにし、かためにゆでて水をきる。こんにやくも太めの千切りにし、さっと湯通しし、水をきる。
- ③コマツナは、塩少々を入れた熱湯で1~2分間ゆで、水気を絞って3cmの長さに切る。
- ④鍋に②を入れ、だし汁とAを入れて、煮含める。
- ⑤①に白味噌、砂糖、塩、薄口しょう油を適宜(分量外)加え、すり鉢ですって、あえ衣を作り、③と④をあえる。

●栄養価(1人分) エネルギー58kcal/たんぱく質2.6g/脂質0.4g/カルシウム62mg/鉄1.2mg/ビタミンC9mg/食物繊維2.4g/塩分1.6g

●薬膳まめ知識 酒かすは、焼酎や日本酒などと同じように、体を温めて血のめぐりをよくする働きがあります。

表紙のことは

11月6日、メロップラザで「パッと!!イクメン講座」が行われ、0~3歳児の父親17名が参加しました。イクメンとは、自分の家庭に合った子育てを楽しみ、自分自身も成長していくこととする男性のこと。講師から「子どもを連れて出掛けてくるのは大変でしたね」と言葉を掛けられると、みんなリラックスした表情に。この日は、子どもと一緒に遊んだ後、グループに分かれて意見交換。イクメントークに花を咲かせました。



■市民の動き(平成22年11月1日現在) 人口/86,900人(前月比+8人) 世帯数/30,884世帯(前月比±0)

袋井市の木・花・鳥(平成22年5月16日制定)

市の木:キンモクセイ

庭木として多くの家庭などに植えられ、広く親しまれています。秋にはオレンジ色の花が咲き、甘い香りが漂います。

市の花:コスモス

秋になると、市内各地で彩り豊かなコスモス畑が見られます。可憐で美しく親しみやすい花です。

市の鳥:フクロウ

鎌倉時代の遺塵和歌集の中でも「袋井」に掛けて詠まれるなど、歴史的な関わりが深く、市名と語感的にも類似していることから親しみを感じる鳥です。